

第 10 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」
議事概要(案)

日時：2016 年 5 月 18 日(水) 13:30～15:40

場所：3 東洋海事ビル B+C 会議室

出席者(敬称略)：

(委員長) 宮野

(副委員長) 関村

(幹事) 瀧口、田中、早瀬

(委員) 安部田、出光、内田、可児、三倉、鈴木、塚田、奈良林、服部、蛭沢、柳原、林道、
青木 (渡邊委員代理)

(オブザーバー) 上塚(会長)、上坂(副会長)、湯本(エネ庁)、青木(エネ庁)、福田(NDF)、
森山(JAEA)、大橋(IRID)、長谷部(化学工学会、京都大)、松方(化学工学会、早
稲田大)

1. 委員長挨拶

宮野委員長より、新オブザーバーの参加紹介があった。

2. 議事録、議事概要の確認

前回の第 9 回廃炉検討委員会の議事録は原案通りで承認となった。

3. 委員リスト

ロボット分科会委員、事故提言・課題フォロー分科会委員の変更について説明があり、
原案通りで承認となった。

4. 規定変更報告

第 18 条 委員会の名称を正式名に変更する提案の説明があり、承認された。最終的に
は理事会で決定される。

5. 燃料デブリ研究専門委員会設立の報告

燃料デブリに関する研究専門委員会の設立について紹介があった。

6. 運営体制について

委員会の運営体制に関し、新たに運営タスクチームを作り組織運営を行うことが提案
され、原案通り承認された。

7. 3月6日の廃炉委のシンポジウムについて開催報告

参加者数 150 名（うち一般受付 120 名、報道関係 8 名）、質疑応答の議事メモ、アンケートのまとめが紹介された。

8. 廃棄物検討分科会設置の提案

新たに「廃棄物検討分科会」を設置することが提案され、審議の結果、本分科会の設置が承認された。

9. 分科会からの報告

リスク評価分科会、建屋構造性能分科会、ロボット分科会、提言・課題フォロー分科会から活動内容の紹介があった。提言・課題フォロー分科会から「事故進展に関する未解明事項フォローWG」の設置の提案があり、了承された。

10. 原子力学会秋の大会への取り組み

2016 年秋の大会の企画セッション提案書が紹介され、承認された。（委員会後に講演を追加することとなり、メールによる委員の承認を得て、提案書は事務局に提出された。）

11. 平成 27 年度期末報告書

平成 27 年度期末報告書の内容が報告され、本件原案通り承認された。

12. 研究専門委員会等の関連活動

「核分裂生成物挙動」研究専門委員会の設立に向けた活動状況が報告された。

13. その他

13-1 エネ庁/NDF 主催「第 1 回福島第一廃炉国際フォーラム」の報告

平成 28 年 4 月 10 日～11 日に福島県いわき市で開催された首記フォーラムの結果概要が紹介された。

13-2 原子力学会主催の「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」の動き

福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会規約(案)、および現在の参加機関が紹介された。

13-3 平成 27 年度事業報告、平成 28 年度事業計画

第 6 回総会で審議される事業報告および事業計画案について説明された。一部記載事項を修正することで承認された。

13-4 次回廃炉委の予定

次回の第 11 回廃炉委の日時は 2016 年 7 月 21 日(木) 13 : 30～17 : 30 とした。

以上